



2020年10月21日

Amazon、オンデマンド・プリントサービス「Merch by Amazon」、日本で開始

- ～先行費用や投資、システム利用料なしで世界のお客様に商品提供が可能に～
- ～ブランドやクリエイターがオリジナルの作品をアップロード、
お客様の注文後に Amazon が作品を商品に印刷し、出荷～
- ～数十万点以上のキャラクターやブランドの商品を揃えたストアを同時オープン～
- ～サービスの開始を記念し、日本の有名クリエイターの作品をご提供
「Fukase (BAD MOOD)」「Q-TA」「白濱イズミ」
「Takako Noel」「田中達也 (MINIATURE LIFE)」「Tezzo SUZUKI」～

Amazonは2020年10月21日(水)、世界で展開するオンデマンド・プリントサービス「Merch by Amazon」(マーチ バイ アマゾン)を日本で開始しました。Merch by Amazonは、ブランドや作品の製作者となるクリエイター(以下、クリエイター)がオリジナルの作品をアップロードし、Amazonが商品上にプリントしてお客様にお届けするオンデマンド・サービスです。クリエイターによる先行費用や投資、在庫管理などが一切かからないのが特徴です。

クリエイターがオリジナルの作品をアップロードし、Amazonに登録すると、最短で数時間以内にAmazonプライム対象商品として販売が開始されます。クリエイターの作品に注文が入ると、Amazonはその作品を商品に印刷してお客様に発送します。注文に応じて、クリエイターにロイヤリティをお支払いする仕組みです。日本を拠点とするクリエイターは、一度作品をご登録いただくと、日本のみならず、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、スペインのAmazonサイトでも販売することが可能となるため、海外のAmazonのお客様にも作品をお届けすることができます。また、Amazonでは、本サービスの開始を記念して作品の制作用にAdobe(アドビ)社の「Adobe Illustrator CC」及び、「Adobe Photoshop CC」を、2020年10月25日23時59分まで、Amazonサイト(<http://www.amazon.co.jp/adobesale>)での割引(23%OFF)にてご提供いたします。

お客様は、ストアページ(<http://www.amazon.co.jp/tstore>)にて、様々なデザインの中から商品をお選びいただけます。日本では、「NBCユニバーサル」「クレヨンしんちゃん」「KONAMI」「サンリオ」「StompStamp」「パックマン」「バンダイ」「ベイブレード」「マイリトルポニー(My Little Pony)」「モンテッチ」「MONDO TV」「LINE FRIENDS」などのキャラクターやブランドをはじめ、本サービスを展開している他国のクリエイターが登録した数十万点以上のセレクションを、Amazonプライム対象商品としてお買い求めいただけます。

また、日本でのMerch by Amazonの開始に合わせて、BAD MOODクリエイターで、アーティストのFukase氏をはじめ、Q-TA氏、白濱イズミ氏、Takako Noel氏、田中達也氏、Tezzo Suzuki氏といったミュージック、ファッション、アートの分野で注目を集める6名に作品をご提供いただきます。また、着用モデルとして石川恋氏、Tetsu氏、クリス・ウェブ佳子氏とBeniさん親子、内藤朝美氏を起用しています。

アマゾンジャパン バイスプレジデント ファッション事業本部 統括本部長 ジェームズ・ピーターズは次のように述べています。「この度、日本を拠点に活動するクリエイターの皆様のデザインを世界中のお客様にお届けできるAmazonのサービス、Merch by Amazonを日本でもご提供できることを大変嬉しく思います。サービス開始にあたり、素晴らしい作品をご提供いただいたすべてのクリエイターとブランドの皆様に感謝申し上げます。Amazon Fashionは、今後も、お客様にワクワクしていただけるような商品をご提供していくとともに、ファッションのお買い物に新たなイノベーションを起こし、ファッションやデザインのコミュニティの活力となるような支援を続けてまいります。」

Merch by Amazon について

- 日本での開始年月: 2020年10月
- 商品展開と色:

	Tシャツ(半袖)	Tシャツ(長袖)	トレーナー	パーカー
色	15色*	4色	4色	4色
タイプ	メンズ S-XXXL	ユニセックス S-XXL	ユニセックス S-XXL	ユニセックス S-XXL
	レディース WM、WL			
	キッズ 100~160			

*販売商品としてTシャツ1型につき登録できるのは最大10色までです。

- アカウント登録料・システム利用料: 無料
※現在、アカウント登録は招待制。招待のリクエスト、アカウント登録、システム利用には、amazon.com(米国)のアカウントが必要です。
- 日本で登録された商品を販売することが可能なサイト: amazon.com、amazon.co.uk、amazon.de、amazon.fr、amazon.it、amazon.es
- Merch by Amazon ストアページ: <http://www.amazon.co.jp/tstore>
- Merch by Amazon 登録ページ: http://merch.amazon.com/landing?language=ja_JP
- 海外での開始年: 2015年アメリカ、2018年イギリス、ドイツ、2020年フランス、イタリア、スペイン
アメリカ、EUでは、衣料品に加え、スマートフォンアクセサリなどの雑貨も展開。
※雑貨類は2020年10月現在、日本では未展開

Merch by Amazon に参画した6名のプロフィール及びコメント

「BAD MOOD」(バッドムード)



架空の5人組バンド“The Pink Elephants”が皮肉なメッセージで世の中を風刺的に描くアニメーション「BAD MOOD」を中心に展開するクリエイティブブランド(プロジェクト)。

BAD MOODはSEKAI NO OWARIのFukaseがデザインと監修を行い、クリエイティブディレクターの和田直希がクリエイティブディレクションを手掛ける、新しい価値観の誕生を期待させるプロジェクトである。

Fukase アーティスト

BAD MOODブランドのデザイナー・クリエイター。またSEKAI NO OWARI・End of the Worldとして音楽活動を行い、多岐にわたってプロジェクトを主宰するアーティスト。

音楽シーンに突如現れ、「セカオワ現象」と呼ばれるほど加速度的なスピード感で認知を拡大し、日本を代表するグループとなったSEKAI NO OWARIは2019年に行われた全国ツアーでは約30万人にもおよぶ動員数を誇る。音楽の分野にとどまらず自らのスタイルとクリエイティブを発揮している。特にファッションにおいては独自のスタイルが評価され、国内外のファッション誌に度々登場。その存在感は新しいトレンドを作っていく存在となっている。



BAD MOODクリエイターのFukase氏は、下記のように述べています。

「アニメーションプロジェクトであるBAD MOODがPrime Videoで配信されるのにあわせ、Merch by Amazonを活用し、その世界観をアパレルアイテムとして販売できることを大変嬉しく思います。グローバルな展開を視野にいれているBAD MOODが、カテゴリを超え、また、日本にいながらにして、世界中のお客様にリーチしていけるのはとても面白く、Amazonとだから実現できたと感じています。Merch by Amazonでの活動だけではなく、Amazonを通して、これから様々なプロジェクトを展開していきますので、ご期待ください。」

デザインのテーマ

「BAD MOODでは、自分が音楽では伝えられなかったメッセージを、自分の言葉ではなく、アニメーションで表現し、観る人が受け取るイメージや感想、そのものを大事にしています。」

アニメーションの中にある色々なキャラクターをファッションの上でアートワークとして表現できたら面白いと考えています。」

本日、10月21日(水)より Prime Video で「BAD MOOD」のアニメーションが配信されるのに合わせて、ストアページでも、「BAD MOOD」のアパレルアイテムをご提供します。また、Amazon には、「End of The World」特設ページも開設され、「BAD MOOD」を含む様々なプロジェクトの全貌について同ページ上で随時更新していきます。「BAD MOOD」のアニメーションはこちら(<http://www.amazon.co.jp/dp/B08LG67R5S>)から。プロジェクトの全貌は「End of The World」特設ページ(<http://www.amazon.co.jp/eow>)から。(End of the World 特設ページの公開は 10月27日を予定)



Q-TA (キュータ) アートディレクター/コラージュアーティスト

シュルレアリスムを独自の解釈で表現するファッション性の高いポップなコラージュ&ビジュアル作品で、GUCCI のアートプロジェクト「#GucciGram」や、ディズニー映画『Alice Through the Looking Glass』の Instagram キャンペーンへの作品提供をはじめ、アパレルブランドとのビジュアルコラボレーションや CM、CD、雑誌、装画、装飾デザインなど国内外で幅広く活躍する。

アートディレクター/コラージュアーティストの Q-TA 氏は、下記のように述べています。

「Merch by Amazon にお声がけいただき有り難うございます。今や多くの日本人の生活に身近な存在になった Amazon を介してクリエイターとユーザーの距離感がぐっと縮まるチャンスだと感じました。感覚的に創造し、感覚的に身に纏う。ここから新しい「感覚」が生まれていくことを期待しています。」



デザインのテーマ

今回デザインを2種作らせていただきました。デザインを作るにあたって気を遣ったのが「着た時の見え」です。あまり複雑化しないよう、遠目から見ても色、形が分かるようにシンプルに記号的なデザインで構成しました。そして近くから見た時は「ちょっとしたコラージュ的な面白さ」を表現しました。



白濱イズミ アーティスト

ラブリとしてメディアで活動する一方、近年は自身の内側から生まれる「言葉」を日本名である白濱イズミとして形に捉われずに様々な展示方法を使いながら伝える活動をしている。2020年自らディレクションを務める言葉に触れるスキンケア「ikaw」を発表した。

アーティストの白濱イズミ氏は、下記のように述べています。

「この度は Merch by Amazon に参加することができてとても嬉しく思います。言葉をこのように形に変えることができたこと、そしてその言葉に触れていただくことで、なにかのきっかけになれば幸いです。」

デザインのテーマ

デザインを形にする時、作る意味をまず考えます。社会にとって意味のあるものであってほしい。I know.(今回の作品タイトル)私達は本来考えなくても知っているはずだと思っています。自ら、I know.を引き出すか、取り戻すかは自分次第なんですよ。隣の人を知ること、そして生まれる優しさ、思いやること、そうすることで地球全体がプラスに働くように思い、このようなデザインを作りました。





Takako Noel (タカコノエル) ビジュアル・アーティスト

上智大学在学中にロンドン・カレッジ・オブ・ファッションへ留学。写真やスタイリング、雑誌編集を学ぶ。帰国後にフィルムカメラで作品を撮り始め、ビジュアル・アーティストとして活動を開始。2016年に開いた個展が話題となり、現在は広告、ファッション誌、ミュージックビデオの撮影などで幅広く活躍中。

ビジュアル・アーティストの Takako Noel 氏は、下記のように述べています。

「Merch by Amazon を通じ、世界中の人が簡単にアクセスできて物をシェアできる素晴らしいシステムのなかに参加できてうれしいです。ただ、そのシステムを愛のある使い方してほしい。本当に必要だと感じる人のもとに届いてほしいなと思います。」



デザインのテーマ

いままでに体験した光と感情がテーマです。

いつも LOVE をもらってたくさんの感情を体験させてくれている出会ったすべての光。撮りたいという強い衝動にかられる存在がたくさんあるこの星に感謝。その LOVE のエネルギーを少しでもアウトプットして自分もその循環の一部になれたらと思い、忘れたくない大切な瞬間の光画をお洋服にしました。着てくれた人がハッピーに感じてくれたらとっても幸せです！



田中 達也 MINIATURE LIFE (ミニチュアライフ) ミニチュア写真家・見立て作家

2011年、ミニチュアの視点で日常にある物を別の物に見立てたアート「MINIATURE CALENDAR」を開始。以後毎日作品をインターネット上で発表し続けている。「MINIATURE LIFE 展 田中達也見立ての世界」が国内外で開催中。Instagram のフォロワーは 250 万人を超える(2020年6月現在)。著書に「MINIATURE LIFE MINIATURE TRIP IN JAPAN」など、他多数。

MINIATURE LIFE ミニチュア写真家・見立て作家の田中達也氏は、下記のように述べています。

「日常の道具を毎日作品に取り入れる上で、Amazon は僕にとって欠かせない存在です。そんな Amazon の日本での新サービススタートにあたって、お声がけいただいたことを大変嬉しく思います。クリエイターが自由に Amazon で自分の作品を発表でき、日本だけでなく海外にも販売できることは素晴らしいことです。これまで作品をファッションに取り入れてみたことはなかったのですが、これを機会に新しい可能性を探りたいと思っています。」



デザインのテーマ

ミニチュアの視点で日常にある別の物に見立てました。日々の暮らしが楽しくなるような作品たちをあなたのファッションにぜひ取り入れてみてください。

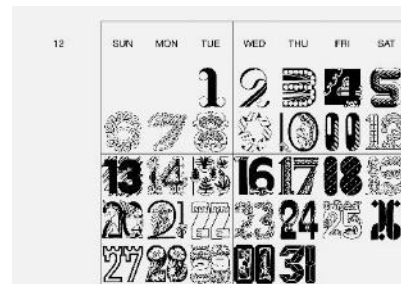


Tezzo Suzuki (鈴木哲生) グラフィック・デザイナー

グラフィック・デザイナー。2013年東京芸術大学美術学部デザイン科卒業後、隈研吾建築都市設計事務所勤務を経て、2015年オランダ KABK デン・ハーグ王立美術アカデミー タイプメディア修士課程を修了。

グラフィック・デザイナーの鈴木哲生氏は、下記のように述べています。

「Merch by Amazon への参加のオファーをいただき嬉しく思っています。お客様が注文してから印刷されて出荷するまでのプロセスも直に見てみたいと思いました。」



デザインのテーマ

スローガンがあると連帯できる。そして人には常にスローガンだけでは汲み取れない意見とかアイデアとか思索の部分があって、それは各自で言葉を尽くして追求していくしかない。それを再度無理やりみんなが着られるスローガン T シャツにすると、こういうものになるのだと思う。読みを共有できないもの、各自が読むものに。我々はときに連帯すべきだが、結束主義的になるべきではなく、独立すべきだが孤立すべきではない…。

Merch by Amazon について

Merch by Amazon は、ブランド、独立系デザイナー、アーティストから中小企業まで、先行費用や投資なしでアパレル商品を Amazon での販売が可能なオンデマンドのプリントサービスです。作品のクリエイターがオリジナルの作品をアップロードし、商品として Amazon に登録すると、その商品は最短で数時間以内に Amazon プライム対象商品として販売されます。また、お客様がクリエイターの商品を注文すると、Amazon は商品を印刷してお客様に発送し、クリエイターにロイヤリティを支払います。Merch by Amazon は 2015 年にアメリカで、2018 年にはイギリス、ドイツで、2020 年にはフランス、イタリア、スペインでも開始しています。現在、数十万点以上のキャラクターやブランドがプリントされた商品をご提供しています。日本で登録された作品は、amazon.com、amazon.co.uk、amazon.de、amazon.fr、amazon.it、amazon.es でも販売することが可能となるため、日本にいながらにして海外の Amazon のお客様に商品をお届けすることができます。Amazon は Merch by Amazon を通じて、才能あるクリエイターの皆様と世界中のお客様をシームレスにつなぐ役割を担います。詳しくは、March by Amazon ストアページ(<http://www.amazon.co.jp/tstore>)、March by Amazon 登録ページ(<http://merch.amazon.com>)をご覧ください。

Amazon Fashion について

Amazon Fashion は、頭から足まで全身をコーディネートする衣料品をご提供しています。最旬のデザイナー、ブランドから新進気鋭のデザイナー、ブランドのアパレル、靴、アクセサリ、ジュエリー、時計、ハンドバッグ、スーツケースなど多岐にわたるラインナップから様々な機会、スタイル、予算に合わせた商品が発見することができます。また Amazon Fashion は、購入前にご試着いただくことが可能なプライム・ワードローブのようなプライム会員限定のプログラムを通して品揃えを拡大し、お客様に新しいお買い物体験をご提供し続けています。近年、世界中のファッションインフルエンサーによってデザインされた限定コレクションをご提供する新しいショッピング体験、The Drop を開始しました。Amazon Fashion は、テクノロジーを活用しお客様に親和性の高い商品をご提供することでオンラインでのお買い物体験が向上するよう努力しています。詳細については、(<http://www.amazon.co.jp/fashion>)をご覧ください。

Amazon について

Amazon は 4 つの理念を指針としています。お客様を起点にすること、創造への情熱、優れた運営へのこだわり、そして長期的な発想です。カスタマーレビュー、1-Click 注文、パーソナライズされたおすすめ商品機能、Amazon プライム、フルフィルメント by Amazon (FBA)、アマゾン ウェブ サービス (AWS)、Kindle ダイレクト・パブリッシング、Kindle、Fire タブレット、Fire TV、Amazon Echo、Alexa などは、Amazon が先駆けて提供している商品やサービスです。Amazon について詳しくは Amazon Newsroom(<http://amazon-press.jp>)および Amazon ブログ(<http://blog.aboutamazon.jp>)から。